

一般質問

6人の議員が町政について質問しました。

一般質問は、議員が町行政全般にわたり、町長を始めとする執行機関に対して行う質問のことです。

● 森 宏子

- ・ 防災時の避難準備について
- ・ 公共施設の使用料について

● 榎戸 陵友

- ・ 小中学校の廃校活用を考える

● 服部 光男

- ・ 地域公共交通の将来展望を問う

● 吉原 一治

- ・ 土砂災害防止対策について
- ・ 第7次南知多町総合計画の推進について

● 鈴木 浩二

- ・ DXの推進について
- ・ 中学校統合の未来について

● 内田 保

- ・ 災害時要配慮者支援計画について
- ・ 学びやすい・働きやすい新中学校の建設に向けて
- ・ 新型コロナウイルス第7波とその後の感染防止に対応するために



うちだ たもつ
内田 保 議員

Q
新中学3年 3学級でなく4学級に
40人の定数内で3学級としたい

災害時要配慮者の支援計画の作成を

問 町が示した災害時における要配慮者は197名で0名の地区もある。登録せず「希望する」としている方の把握方法はどのような対策を考えているか。

答 大岩厚生部長

本町の避難行動要支援者の把握は、避難の支援を希望する方自ら申し出てもらうこととしており、その周知は町広報紙への掲載、また、民生・児童委員に申請促進を依頼している。

問 少なくとも町が把握した要配慮者に対する支援者の確定と避難場所、避難方法の個別避難計画は策定されているか。

答 大岩厚生部長

登録台帳に支援者を記載し、確定している。しかし避難場所および避難方法は記載していない。個別避難計画について関係課で見直し、協議をしている

ころである。

問 大府市では災害時に自力で避難が難しい要支援者の個別避難計画を策定し、関係者での情報共有のための条例改正をした。本町も名簿の共有のための条例の整備が必要と考えるがどうか。

答 大岩厚生部長

本町の制度は避難行動要支援者名簿への登録も地域支援者への情報提供も要支援者本人の意思を確認する制度で、現時点では、個別避難計画の作成を優先して行っていきたいことから条例制定は考えていない。

学びやすい・働きやすい
新中学校建設に向けて

問 令和5年度開校の南知多中学校3年生は3学級にせず、現2年生4学級の学びの条件や働く条件が保障される4学級にすべきと考えるがどうか。

答 鈴木教育部長

統合校には統合支援担当教員が期限付きで追加配置されるので、4学級にして学級担任にすることもできる。しかし、町教育委員会はできる限り多くの友人と生活する時間を優先したいと考え、40人の定数内であり、4学級編成は考えていない。

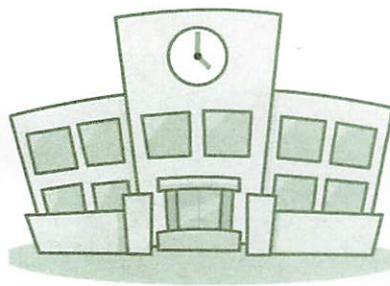
問 令和10年度建設予定の新中学校には、プールの配置、グラウンドの拡張、ランチルームの想定はされているか。

答 鈴木教育部長

プールは、費用対効果を考え、独自で建設はせず、町内の小学校や近隣高校のプールの借用を考えている。グラウンドの拡張は現在の敷地の有効活用を考えている。ランチルームは短い時間に一齐に一か所で昼食をとることは大きなスペースが必要となり、専用施設としては難しいが、多目的施設としての位置づけの中で必要性を検討してい

きたい。

新型コロナウイルス第7波とその後の感染防止に対応するために



問 いつでも必要な人に配布できるように、抗原検査キットを各サービセンタールームに準備し、各世帯にも配布することが必要と思うがどうか。

答 大岩厚生部長

町としては、換気や消毒等の感染予防に努めてもらい、体調に異変があれば医療機関を受診することで感染拡大を防ぎたいと考えているので、抗原検査キットの配布は考えていない。

A